

あきた未来創造部

総務企画委員会

【議案関係資料】

(当初予算関係)

2月20日提出

令和6年第1回定例会（2月議会）予算及び付託議案審査関係資料（当初関係）

令和6年2月20日
あきた未来創造部

【予算関係】

<あきた未来戦略課>

令和6年度 あきた未来創造部 主要施策の概要について	・・・	3
地域重点施策推進事業について	・・・	5
ふるさと納税を活用した「あきた満喫」トライアル事業について	・・・	10

<高等教育支援室>

高校生の県内進学推進事業について	・・・	11
公立大学法人の運営費交付金について	・・・	12
公立大学法人施設設備等整備事業について	・・・	16
秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター事業について	・・・	18

<移住・定住促進課>

あきた企業連携型奨学金返還助成事業について	・・・	20
地域おこし協力隊ネットワークによる隊員サポート事業について	・・・	22
地方就職学生支援事業について	・・・	24

<次世代・女性活躍支援課>

出会い・結婚支援事業について	・・・	25
若年女性の県内定着促進事業について	・・・	28
オール秋田で子育てを支える地域づくり推進事業について	・・・	31

<地域づくり推進課>

空き家対策総合推進事業について	・・・	33
関係人口による「あきたの物語」拡大事業について	・・・	34
NPO災害支援ネットワーク体制整備事業について	・・・	36

【現状・課題】

○社会動態における明るい兆し

- ・年間社会減2,492人(前年比65人縮小)と4年連続で2千人台を維持 ※令和5年9月末現在
- ・若年層の転出超過における男女比の改善傾向
- ・県関与分移住者の増加傾向 (R2:576人、R3:669人、R4:725人)
- ・高校生の県内就職希望割合74.8% ※令和5年12月末現在(過去6番目の高さ)

○出生数・婚姻数の減少傾向

- ・出生数 R4:3,992人(前年比343人減少)
- ・婚姻数 R4:2,447組(前年比171組減少)

○根源的な少子化対策として“婚姻数”の増加が必要

- ・若年男女における人口構成のアンバランスの解消

○若年男女人口の更なる底上げが必要

- ・高校卒業者の約7割を占める進学者の本県への定着・回帰に向けた取組の強化

【施策の方向性】

“女性や若者への支援を強化し”

“結婚や出産への希望をかなえられる環境づくり”が急務

“若年女性の県内定着・回帰の促進”に向けた

取組を引き続き、重点的に進める

“大学生の県内就職の更なる促進”につながる、企業と連携した新たなインセンティブを提供する

○女性・若者の県内定着・回帰

- ・大学卒業者等の県内就職を促進するための取組の強化
- ・首都圏等の若者が秋田で働き、暮らすきっかけづくりの推進
- ・女性の就業に向けたサポートの充実

○賃金水準の向上

- ・労働生産性や県内就業率を高める取組の強化

人口減少問題の克服

戦略4 未来創造・地域社会戦略

◇目指す姿1 新たな人の流れの創出

【新秋田元気創造プランにおける主な取組】

(1) 首都圏等からの移住の促進

[260,114千円]

- 拡** ①アキタコアベースを核とした相談体制・支援等の充実
 - ・移住や就職に関するワンストップ相談窓口における相談者に寄り添ったサポートの実施
 - ・秋田暮らしにつながるイベント等による交流機会の創出
- 拡** ②地域おこし協力隊の確保・定住率アップに向けた取組の強化
 - ・市町村が行う隊員募集を支援するモデル事業の実施
 - ・隊員活動等における課題の解決に向けたアドバイザーによる支援

(2) 人材誘致の推進と関係人口の拡大

[51,843千円]

- ①リモートワーク移住など多様な人材の受け入れ
 - ・「リモートワークで秋田暮らし」に向けたPR活動ときめ細かな支援
- 新** ②ふるさと納税を活用した本県との交流機会の創出
 - ・県内店舗での買い物等に利用可能なポイントの返礼・付与等
- 拡** ③関係人口の拡大による地域の課題解決・活性化の促進
 - ・アキタコアベースを活用したアキタファンの拡大

(3) 若者の県内定着・回帰の促進

[434,574千円]

- 拡** ①大学生等の県内定着・回帰の更なる促進
 - ・企業と連携し、県内就職した大卒者等に対する奨学金返還への助成
 - ・秋田とのつながりを感じ取れる先輩社員との交流機会の拡大
- 拡** ②若年女性への県内企業の魅力発信・魅力ある職場づくり
 - ・県内企業における魅力の効果的発信に向けた首都圏の女性ネットワークの構築
 - ・若年女性に魅力ある職場づくりに必要な環境整備等への助成

◇目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

(1) 結婚・出産・子育てを前向きに捉える気運の醸成 [117,461千円]

- ①秋田での結婚・子育てに前向きな意識の醸成
 - ・SNS等を活用し、結婚や子育て支援に関するプッシュ型の情報発信
 - ・結婚や子育てに関するライフプランを意識付けする小中高生向け副読本の配布

拡 ②男性の家事・育児の参画促進

- ・家事育児を楽しく行うための家族向け体験型イベントの開催
- ・家事育児参画に対する職場の理解促進につながる企業向けセミナーの実施

(2) 出会い・結婚への支援

[35,088千円]

拡 ①自然な出会いの機会の創出

- ・県内企業と連携した若手社会人向けのセミナー付き同世代交流会の開催
- ・共通の趣味を持つ者同士の交流イベントの開催

拡 ②地域における結婚への支援の充実

- ・婚活スキル向上のための交流会の開催
- ・結婚サポーターのスキルアップセミナー等の開催や結婚支援における市町村・企業等との連携

(3) 安心して子育てできる体制の充実

[2,259,245千円]

新 ①パパも利用できる「こどものえき」の設置促進・設備の充実

- ・民間施設における、おむつ交換台やベビーキープ等の整備支援

②子どもが生まれた家庭への応援・情報発信

- ・お祝いメッセージ付き祝い金の支給、子育て支援策のPR
- ・市町村と連携した伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施

◇目指す姿3 女性・若者が活躍できる社会の実現

(1) 男女共同参画の推進 [47,470千円]

- ①地域の政策・方針決定過程への女性参画の推進
 - ・男女共同参画センター等による地域で活躍する人材育成や意識啓発
- ②男女共同参画社会づくりを推進する人材の養成・活用促進
 - ・あきたFF推進員の養成、スキルアップに向けた支援
 - ・女性人材データベースのPR、地域や企業等への研修講師の派遣

(2) あらゆる分野における女性の活躍の推進 [10,769千円]

- ①女性活躍をリードする官民連携ネットワークの構築
 - ・官民一体での運営による女性自身の意識改革や相互研鑽の推進
- ②経営者等の理解促進・好事例の発信
 - ・地域における女性活躍推進企業の育成やフォローアップ、ネットワーク構築
 - ・SNSを活用し、動画による好事例の発信

(3) 若者のチャレンジへの支援 [53,606千円]

- 拡** ①若者の戦略的な取組に向けた支援の充実
 - ・支援事業への参加機会の拡大や若者のニーズに応じた支援体制づくり
- ②若者による地域の課題解決や活性化に向けた自発的活動の支援
 - ・意欲ある若者の仲間づくりの場の提供、スキルアップ教室の開催
 - ・同じ志を持つ若者同士による実践活動の展開等

◇目指す姿4 変革する時代に対応した地域社会の構築

(1) 優しさと多様性に満ちた秋田づくり [30,582千円]

- ①差別の解消に向けた広報啓発の展開
 - ・関係団体等が参加するワークショップの開催
 - ・年代層にマッチした各種メディアを活用した県民向けの広報啓発の実施
- ②SDGs推進に向けた取組の全県域への浸透
 - ・あきたSDGsアワードやメディアを活用した各パートナーの取組の周知等

(2) 地域住民が主体となった地域コミュニティづくり [23,839千円]

- 拡** ①多様な主体が活躍する地域コミュニティの形成
 - ・地域住民や多様な主体による地域運営組織の形成につながる取組への支援
 - ・住民自治組織と行政の間にとってサポートする人材の確保・育成
- 拡** ②地域住民自ら取り組む元気ムラ活動の推進
 - ・学生や地域のキーマンと集落との交流機会の創出

(3) 多様な主体による協働の推進 [80,356千円]

- 拡** ①市民活動等の基盤強化への支援
 - ・市民活動サポートセンターを中心とした市民活動の推進
 - ・各サポートセンターの連携強化
 - ・県民提案型による協働実践モデルの創出
 - ・NPO災害支援ネットワーク体制の整備

戦略6 教育・人づくり戦略

◇目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

(1) 多様な資源を活用した教育・研究・社会貢献活動の促進 [5,600,971千円]

- 拡** ①教育・研究・地域貢献活動に取り組む公立大学への支援
 - ・秋田県立大学、国際教養大学の運営等への支援
- ②DX推進に資する農工連携研究や先導的人材の育成に向けた支援
 - ・秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センターの研究等への支援

(2) 次代を担う学生の確保と人材育成への支援 [340,717千円]

- 新** ①県内高校生の県内進学率向上に向けた取組の強化
 - ・県内の高等教育機関が一堂に介した進学相談会の開催

基本政策2 生活環境

◇目指す姿2 快適で暮らしやすい生活の実現

(1) 空き家対策の推進 [9,427千円]

- 拡** ①空き家の増加抑制や利活用の促進
 - ・所有者向け相談会、県民向けセミナーの開催
 - ・市町村職員向けスキルアップ研修会の実施
 - ・空き家対策連絡会議の開催

地域振興局の取組

(1) 各地域振興局による地域施策の推進 [58,500千円]

- ・各地域振興局が地域の実情を踏まえ、地域住民等と協働し、新秋田元気創造プランの推進に向けた取組を主体的に展開

地域重点施策推進事業について

あきた未来戦略課

1 目的

地域振興局が主体となり、様々な地域資源を活用しながら管内固有の課題解決を図るとともに、地域活性化に資する事業を推進する。

2 内容

(1) 地域施策推進事業

各地域振興局が住民ニーズや地域の実情を踏まえ策定した地域重点施策推進方針に基づき、様々な分野における各種関連事業を実施する。

(2) 調整費

年度途中に生じる緊急性の高い地域課題やニーズへの対応、今後の施策の芽出しとなる取組を行う。

3 予算額

58,500千円 (⊖58,500千円)

(1) 地域施策推進事業 50,000千円
(1地域振興局当たり 6,250千円)

(2) 調整費 8,500千円

令和6年度地域重点施策推進事業の概要

あきた未来戦略課

振興局	プロジェクト名	主な取組内容	事業費 (千円)	
鹿角	若者の地元定着と企業支援	若者の地元定着と持続可能な企業支援	731	
		管外からの人材確保の支援		
	県内外との連携による誘客拡大	世界文化遺産等への誘客促進	3,698	
		十和田八幡平を核とする誘客促進		
		「SDGsで学ぶ鹿角」教育旅行の誘致		
	かづの地域特産品の生産拡大によるマーケット開拓と林業の担い手確保	将来に向けたかづの地域特産品の生産拡大	1,821	
		かづの牛振興協議会との連携による「かづの牛」の消費回復・拡大		
		鹿角市の「移住お試しツアー」と連携した林業の担い手確保		
				6,250
	北秋田	若者や女性の地元定着、多様な人材の活躍の推進	管内企業の魅力PRによる地元就職・定着の促進	2,146
多様な人材の活躍に向けた職場づくり				
世界遺産の広域連携と地域素材の磨き上げ		「伊勢堂岱遺跡」を切り口とした広域連携による誘客促進	2,749	
		地域の素材を活用したコンテンツ開発と人材育成への支援		
地域特産品のブランド力強化と再生林の推進		特徴ある北秋田農畜産物の供給力強化	647	
		持続性の高い生産基盤体制の整備と強化		
「くらし」と「いのち」を守る地域づくり		自然災害等に備えた安全・安心な地域社会の整備	708	
		アルコール等の依存症の悩みを気軽に相談できる環境づくり		
		動物を通じた「いのち」の大切さを学ぶ人づくり		
			6,250	

振興局	プロジェクト名	主な取組内容	事業費 (千円)
山本	未来につなぐ産業振興と労働力確保の推進	多様な人材の確保・定着の促進と企業活動の支援による賃金水準の向上	2,905
		地域資源を活かした農林水産業の振興と担い手の確保・育成	
		地域と連携した森林資源の循環利用の促進	
		建設産業を担う人材の確保・育成	
	世界自然遺産・白神山地を核とした後世に遺る観光地の形成	白神山地を核とした誘客促進	3,217
		環境に優しい白神山地ブランド化	
	危機管理関係機関等との連携強化による強靱な地域づくり	災害時の地域防災力強化を目的とした危機管理体制の強化	128
			6,250
秋田	地域産業を支える人材の確保と企業の活性化	大学生等と若手社員の交流会・若手社員同士の異業種交流会の開催	1,699
		企業経営者層を対象とした、人材確保や育成等に関する情報交換等を行う「社社会議」の開催	
		中学生を対象とした地元企業や仕事の魅力を伝えるガイダンスの開催	
	新たなニーズに対応した観光振興	体験型プログラム等の掘り起こし、パンフレットの作成	2,059
		管内市町村ごとの魅力を発信するInstagramフォトコンテストの開催	
	産地と販売力の強化と新規就農者への支援	農業法人と連携した新規就農者の優良農地確保に向けたマッチングシステムモデルの構築	1,200
		キャッシュレス決済やインターネット販売など、新たな販売方法の導入に向けた研修会の開催	
		トルコギキョウにおける土壌消毒実証ほの設置や視察研修等による生産者への技術指導	
	持続可能な社会の実現	管内の小学生を対象とした、カーボンニュートラルなどをテーマとした体験型環境学習会の開催	1,292
		企業、団体と連携した道路・河川の維持活動の実施	
夕日の松原クリーンアップと抵抗性クロマツの植栽			
			6,250

振興局	プロジェクト名	主な取組内容	事業費 (千円)
由利	若者の地元定着・回帰促進と企業の人材確保支援	若者の地元定着・回帰促進、地元企業の企業PR力向上支援	2,303
		農業を担う多様な人材の確保・育成	
		建設業における人材の確保・育成	
	鳥海山のブランド力を活かした観光振興	観光事業者等との連携による誘客と周遊の促進	2,664
		山形県との連携による広域観光の推進	
	由利の農林水産業を支える生産体制整備	地域技術の「見える化」による高収益作物の生産体制の確立	605
	心身ともに健康でいきいきと暮らす地域社会の実現	心の健康づくりと自殺予防対策	678
多様な主体との協働による地域活性化			
			6,250
仙北	女性・若者が活躍できる地域社会の実現	女性・若者の地元定着と回帰の促進	1,270
		地元企業の魅力に対する小・中学生の意識醸成	
		関係人口の拡大と移住者の定住促進	
	食でつながる観光振興と地元農作物を活かした食文化の継承	「食」による観光誘客の促進	1,197
		仙北野菜の復活と漬物文化の継承	
	アウトドア・アクティビティと交流人口の拡大	観光資源を活用した誘客と周遊のための観光コンテンツ開発	2,883
		地元イベントや小正月行事を活用した広域観光の推進	
安全安心を支える社会と生活環境づくり	関係機関が連携した流域治水の推進	900	
	地域感染症等から健康を守る取組の推進		
			6,250

振興局	プロジェクト名	主な取組内容	事業費 (千円)
平鹿	地域産業を支える人材の確保と育成	女性が輝き活躍できる職場づくりの推進	1,996
		地域農業を牽引する経営力の高い担い手の育成	
	稼ぐ力を高める産業の振興	企業内デジタル人材の育成支援	3,844
		県内産地を牽引する複合品目の産地強化	
		広域連携による特産品等の販売促進	
		広域観光の推進	
	持続的で美しい地域づくりの推進	地域の環境保全推進と防災意識の醸成	410
			6,250
雄勝	地域産業の人材確保と若者や女性の定着・回帰の促進	地域を担う次世代の人材確保を支援	2,180
		若者・女性の地元定着、回帰促進	
	「ヒトの魅力」を活かした誘客促進と交流人口の拡大	雄勝ならではのコンテンツを活かす誘客の促進	2,969
		三県際及び県南三地域連携による広域観光推進と交通ネットワーク整備	
	雄勝地域の特性を発揮した産地収益力の向上を支援	おがちの園芸品目の生産拡大を支援	919
ソフト・ハードで支える安全・安心な地域づくり	関係機関との連携等による地域防災力の向上	182	
			6,250

ふるさと納税を活用した「あきた満喫」トライアル事業について（新規）

あきた未来戦略課

1 目的

ふるさと納税の寄附者との更なる交流につながる機会を確保するため、本県へ寄附を行った県外の方に対し、県内の指定店舗での地場産品の購入や地場産食材の飲食に使用できる返礼ポイントを付与する。

2 内容

ポータルサイトの運営会社（株式会社トラストバンク）が提供する専用アプリ（チョイスPay）を利用して寄附した場合にポイントを付与する。

寄附者は、指定店舗における地場産品の購入等の際にQRコード決済により、そのポイントを使用できる。

- ・開始時期 令和6年10月
- ・対象店舗 指定する店舗
- ・実施期間 令和7年度まで

3 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|---------|-------------------|
| 令和6年4月～ | 運営会社・店舗との調整・打合せ |
| 6月～ | 店舗による専用アプリへの登録作業 |
| 8月 | 返礼ポイントの提供に係る国への申出 |
| 9月 | 申出に対する国からの指定 |
| 10月 | 専用アプリを利用した寄附受付の開始 |

4 予算額

2,038千円 (⊖2,038千円)
〔旅費等 338千円〕
〔役務費 1,700千円〕

【参考】寄附から精算までの流れ



高校生の県内進学推進事業について（新規）

高等教育支援室

1 目的

県内高校生の県内進学率向上を図るため、県内高等教育機関等を一堂に会した進学相談会を開催する。

2 内容

高校生が高等教育機関等の担当者から直接話を聞くための説明ブースを設置し、学校情報等を提供する。

- ・開催時期 令和6年10月～11月（休日1日）
- ・開催地 秋田市内（県内3地区から送迎バスを運行）
- ・対象者 高校生（主に1、2年生）及び保護者
- ・参加予定校 県内の大学、短期大学、専門学校等 計28校

3 予算額

3,168千円（ \ominus 3,168千円）

〔 報償費等 委託料 〕	37千円 3,131千円	(委託料の内訳)	
		・会場設営費	1,980千円
		・バス運行費	594千円
		・広告費	557千円

公立大学法人の運営費交付金について

高等教育支援室

1 概要

公立大学法人に対し、中期目標・中期計画を達成するために必要な支出額から、収入額を差し引いた額を、運営費交付金として交付する。

2 予算額

4,693,710千円 (⊖4,693,710千円)

(1) 秋田県立大学	運営費交付金 (A) - (B)	3,611,296千円
	支出額 (A)	4,868,940千円
	収入額 (B)	1,257,644千円
(2) 国際教養大学	運営費交付金 (A) - (B)	1,082,414千円
	支出額 (A)	1,714,186千円
	収入額 (B)	631,772千円

[負担金補助及び交付金 4,693,710千円]

3 秋田県立大学

(1) 運営費交付金算定ルールについて

令和6年度からの次期中期目標・中期計画期間の取組に対応するため、次のとおり算定ルールの見直しと適用を行い、運営費交付金に反映させる。

<算定ルールの見直し>

①支出経費の区分

- ・ 現 行：学生教育サービス経費、学生教育間接経費に区分
- ・ 改定後：教育研究等基幹経費、一般管理経費に区分

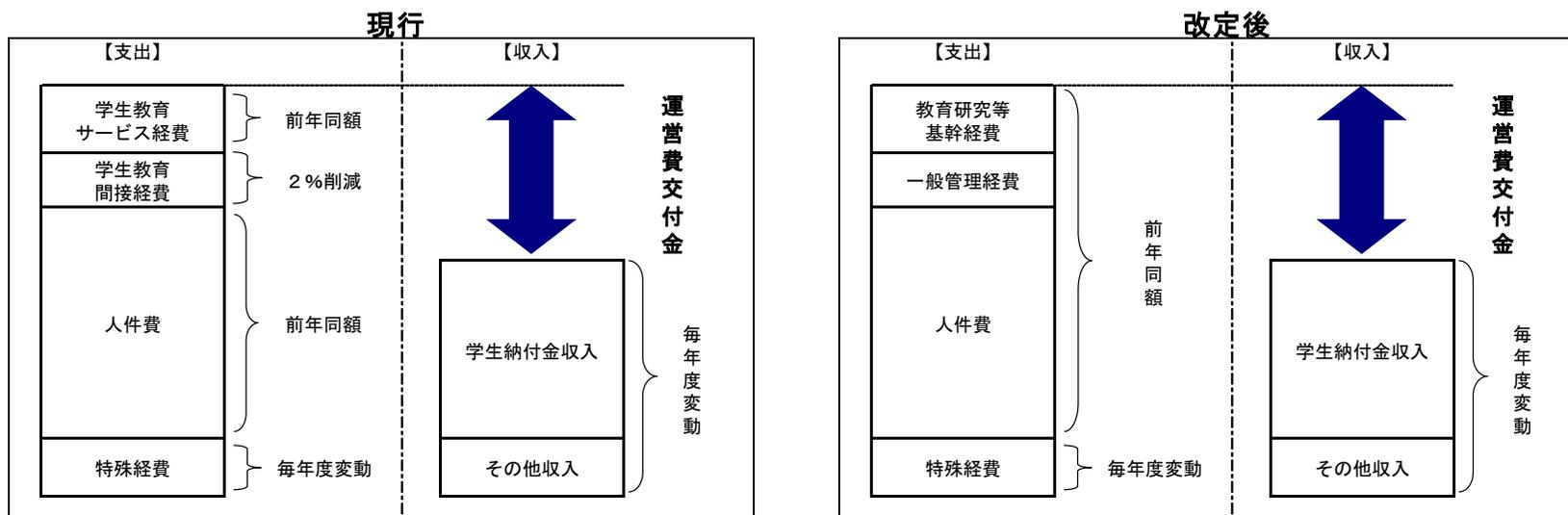
②経営努力促進係数

- ・ 現 行：学生教育間接経費に対し適用し、年2%削減
- ・ 改定後：設定しない

<算定ルールの適用>

①人件費

現期間中の県人事委員会給与勧告の増減率が、期末時点で累計2%以上に達した場合、次期期間において累計増減率を適用



(2) 算定内訳

(単位：千円)

区分		令和6年度	令和5年度	増減額	前年度比(%)	主な増減要因
運営費交付金 (A) - (B)		3,611,296	3,498,271	113,025	3.2	
支 出	教育研究等基幹経費	870,582	870,582	0	0.0	
	一般管理経費	783,277	783,277	0	0.0	<算定ルールの見直し②> 経営努力促進係数の廃止
	人件費	3,160,847	3,062,629	98,218	3.2	<算定ルールの適用①> 現期間中の県人事委員会給 与勧告における累計増減率 を反映
	特殊経費	54,234	58,565	▲ 4,331	▲ 7.4	
支出計 (A)		4,868,940	4,775,053	93,887	2.0	
収 入	学生納付金収入	1,161,730	1,183,697	▲ 21,967	▲ 1.9	在学生数の減少による
	その他収入	95,914	93,085	2,829	3.0	
収入計 (B)		1,257,644	1,276,782	▲ 19,138	▲ 1.5	

4 国際教養大学

(単位：千円)

区分		令和6年度	令和5年度	増減額	前年度比(%)	主な増減要因
運営費交付金 (A) - (B)		1,082,414	1,092,025	▲ 9,611	▲ 0.9	
支 出	教育研究等基幹経費	303,977	303,977	0	0.0	
	一般管理経費	183,360	183,360	0	0.0	
	人件費	1,126,784	1,126,784	0	0.0	
	特殊経費	100,065	101,719	▲ 1,654	▲ 1.6	
支出計 (A)		1,714,186	1,715,840	▲ 1,654	▲ 0.1	
収 入	学生納付金収入	552,564	545,331	7,233	1.3	在学生数の増加による
	その他収入	79,208	78,484	724	0.9	
収入計 (B)		631,772	623,815	7,957	1.3	

公立大学法人施設設備等整備事業について

高等教育支援室

1 目的

公立大学法人の教育環境向上のため、施設整備等に要する経費に対し助成する。

2 内容

(1) 秋田県立大学

項 目		設置 年度	予算額 (千円)	内 容
施設設備	受変電設備更新 (秋田・本荘キャンパス)	H11	175,510	受変電設備の経年劣化による更新
	学内統合サーバ更新 (秋田キャンパス)	H11	23,100	学内ネットワークの無線化及び学内D X推進に伴うセキュリティ確保のための更新
合 計			198,610	

(2) 国際教養大学

項 目		設置 年度	予算額 (千円)	内 容
施設設備	図書館棟空調設備更新	H19	56,723	図書館棟空調設備の経年劣化による更新

【参考】

○国際教養大学図書館棟空調設備更新全体スケジュール

年度	事業内訳		予算額 (千円)
令和5年度	実施設計・1階部分工事	実施設計・設備更新工事	14,138
令和6年度	1・2階部分工事	設備更新工事	56,723
令和7年度	2階部分工事	設備更新工事	65,026
合 計			135,887

3 予算額

255,333千円 (⊖255,333千円)

(1) 秋田県立大学 198,610千円 (⊖198,610千円)

(2) 国際教養大学 56,723千円 (⊖56,723千円)

[負担金補助及び交付金 255,333千円]

4 補助率

10/10以内

秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター事業について

高等教育支援室

1 目的

「儲かる農業」を目指す「秋田版スマート農業モデル」を創出するため、分野を超えた連携研究、高度な教育による農業人材の育成、先端技術の開発・実証・展示等に要する経費を助成する。

2 内容

(1) 秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金

共同研究、人材育成等に要する経費に対し助成する。

補助率 10/10以内

- 研究テーマ
- | | |
|----------------|------------------|
| ① 5Gリモート農業 | ② アグリデジタルツインの開発 |
| ③ 超省力スマート農業 | ④ ICT肉牛放牧による飼養管理 |
| ⑤ 果菜類収穫ロボットの開発 | ⑥ 秋田周年化モデル |
| ⑦ 秋田版農業情報基盤の構築 | |

※研究テーマ③・⑤・⑥については、大仙市と共同で実施

- 人材育成等
- ・全学部、研究生を対象とした「スマート農業」関連講義の実施
 - ・スマート農業指導士育成プログラムの実施
 - ・県内高等学校等を対象としたスマート農業体験・学習会の実施

(2) 広報・アドバイザリーボード開催等経費

事業の適切なPDCAサイクルを構築するため、国・専門家等から事業運営等に対し、助言・サポートを受けるほか、センターにおける取組を県民に周知する。

3 予算額

185,184千円（国92,495千円、諸8,560千円、債84,129千円）

国：デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ（Society5.0型））

(1) 秋田版スマート農業モデル創出事業費補助金 182,061千円
 [負担金補助及び交付金 182,061千円]

(2) 広報・アドバイザリーボード開催等経費 3,123千円
 [報償費 120千円
 旅費等 748千円
 委託料 2,255千円]
 (委託料の内訳)
 ・ 広報紙の制作 2,255千円

4 参考

事業規模（デジタル田園都市国家構想交付金計画額ベース）

単位：千円

	総額	国	諸	債	ー	備考
①県分	1,628,878	814,438	68,254	269,300	476,886	R3～7
R3	465,348	232,674	11,002	127,000	94,672	
R4	512,715	256,357	22,662	117,900	115,796	
R5	313,848	156,924	23,555	24,400	108,969	
R6	184,991	92,495	8,560	0	83,936	
R7	151,976	75,988	2,475	0	73,513	
②大仙市分	12,200	6,100	0	0	6,100	R4～7
計画額（①+②）	1,641,078	820,538	68,254	269,300	482,986	

※交付金対象外の職員旅費分は除く

あきた企業連携型奨学金返還助成事業について（新規）

移住・定住促進課

1 目的

官民を挙げて大卒者等の更なる県内定着・回帰を促進するため、本県産業の新時代への挑戦に向けて飛躍を目指す企業と連携し、県内就職者の経済的負担を軽減する、新たな奨学金返還助成制度を創設する。

2 内容

大卒者等を対象とした新たな奨学金返還助成制度について、県内外の大学や企業等に向けた新制度のPRを行うとともに、奨学金返還助成システムの改修を行う。

3 予算額

3, 208千円 (⊖3, 208千円)

需用費	290千円
役務費	418千円
委託料	2,500千円

(委託料の内訳)

- ・奨学金返還助成システム改修

【参考】あきた企業連携型奨学金返還助成制度

[対象者]

大卒者等（大学、大学院、高専専攻科の卒業生）であって、大卒者等を採用する意欲のある企業へ正規雇用された者

[対象企業]

大卒者等への奨学金返還助成に際し、県と連携して所定の負担をする、県内本社企業又は主たる勤務地を県内に定めて雇用する県外本社企業

※次の要件両方に該当する企業は対象外

過去3年間の大卒者等採用数が平均20人以上

過去3年間の大卒者等採用数が同期間の大卒者等採用予定数に達している企業

[対象奨学金]

返済義務のある奨学金

[支援額]

最大120万円（上限20万円×6年間）

[県負担割合]

中小企業 2/3（最大80万円）

大企業 1/2（最大60万円）

特定企業 1/4（最大30万円）※原則として過去3年間の大卒者等採用数が平均20人以上の企業

[スケジュール]

・採用1年目（認定等）R6年度～

①返還支援にかかる認定申請

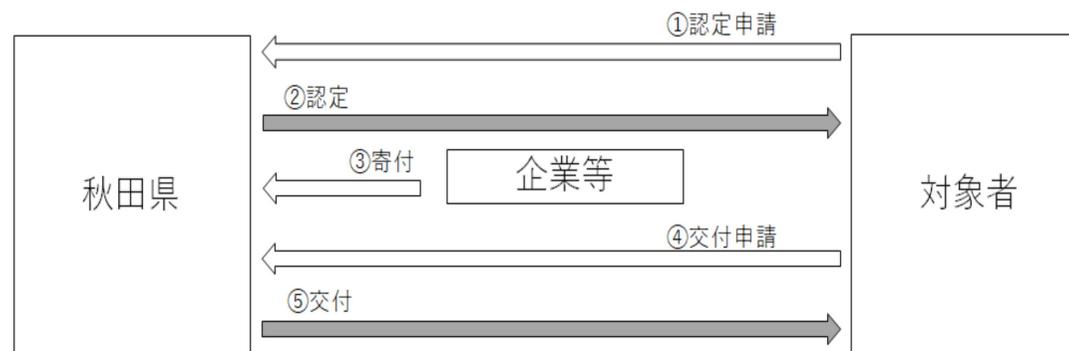
②県による認定

・採用2年目（交付等）R7年度～

③企業負担分について企業から県への寄附

④返還支援にかかる交付申請

⑤県による交付



地域おこし協力隊ネットワークによる隊員サポート事業について

移住・定住促進課

1 目的

地域おこし協力隊応募者の増加や隊員活動の充実、退任後の定住促進を図るため、秋田県地域おこし協力隊ネットワークと連携し、モデル事業の実施やアドバイザーの活用により市町村や現役隊員を支援する。

2 内容

(1) 現役隊員向け支援

- ①協力隊の活動地域を訪問するフィールドワークや退任後の事例を紹介する研修会等を開催する。
 - ・開催回数 4回
 - ・対象者 地域おこし協力隊員
- ②活動地域を越えた隊員同士の人脈形成や様々な活動を知るための交流会を開催する。
 - ・開催回数 1回
 - ・対象者 地域おこし協力隊員、地域おこし協力隊OB・OG
- ③隊員活動や退任後の進路に関する悩み等に対応するための相談窓口を設置する。
 - ・相談窓口 秋田県地域おこし協力隊ネットワーク

(2) 市町村向け支援

- ①協力隊制度の運用に係る課題や優良事例を共有する研究会を開催する。
 - ・開催回数 4回
 - ・対象者 市町村職員等
- ②【新規】市町村における隊員募集企画を伴走支援するモデル事業を実施する。
 - ・実施市町村 1市町村

- ③【新規】全国事例に詳しいアドバイザーを活用し、モデル事業や課題解決への助言を行う。
 - ・回数 21回（オンライン含む。）
- ④【新規】隊員のなり手を確保するための隊員募集イベントを開催する。
 - ・開催回数 1回（2～3市町村）
 - ・開催場所 アキタコアベース
- ⑤【新規】将来のなり手の確保につなげるため、現役隊員等と県内大学生との交流会を開催する。
 - ・開催回数 1回

（3）情報発信

新たな隊員の掘り起こしにつなげるため、情報発信を強化するとともに、移住イベントにおいて協力隊制度の積極的なPRを実施する。

- ・取組内容 移住ポータルサイト内の活動を紹介するインタビュー記事等の作成
首都圏移住フェアにおけるブースの出展

3 予算額

5,145千円（○5,145千円）

旅費等	174千円
委託料	4,971千円

（委託料の内訳）

- | | |
|----------------------------|---------|
| ・現役隊員向け研修会・交流会の開催等 | 1,012千円 |
| ・市町村職員向け研究会の開催等 | 1,380千円 |
| ・アドバイザーの活用 | 866千円 |
| ・市町村向け募集支援モデル事業の実施 | 1,273千円 |
| ・隊員活動紹介記事の作成、移住フェアへのブース出展等 | 440千円 |

地方就職学生支援事業について（新規）

移住・定住促進課

1 目的

若者の秋田への移住・回帰を促進するため、国・市町村と共同で、大学卒業後に県内に移住・就職する学生を支援する。

2 内容

大学の卒業年度において東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）に居住し、かつ本部が東京都内にある大学の東京圏内のキャンパスに原則4年以上在学する学部生に対し、卒業年度の6月以降の採用面接にかかる往復交通費の1/2を支給する。

- ・事業主体 市町村
- ・支給上限額 17,220円（1人1回限り）
- ・想定支給件数 125件
- ・負担割合 国1/2、県1/4、市町村1/4

3 予算額

1,922千円（ \ominus 1,922千円）

旅費等	103千円
需用費	204千円
負担金補助及び交付金	1,615千円

※本事業は、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ（移住・起業・就業型））に対応。

出会い・結婚支援事業について

次世代・女性活躍支援課

1 目的

出会いや結婚を望む独身者を応援するため、機会の創出やマッチング支援等を行う。

2 内容

(1) あきた結婚支援センター負担金

結婚を希望する独身男女を支援するため、「あきた結婚支援センター」の運営費を負担する。

(2) 「まずは出会いから」応援事業

独身男女が抵抗感なく気軽に参加できる交流イベントや、若手社員を対象とした企業間交流会を開催する。

・開催回数 7回

・参加者 共通の趣味を持つ者同士の交流イベント 5回（男女各30人×2回、男女各20人×3回）

研修を主体にした企業間交流会 2回（男女各15人×2回）

(3) 婚活スキル向上事業

独身者が婚活に必要なノウハウを学び、実践するためのセミナー付き交流会を開催する。

・開催回数 4回

・参加者 男女各20人×3回、男女各50人×1回

(4) 結婚サポータースキルアップ事業

出会いや結婚を希望する独身者をサポートする「結婚サポーター」を対象としたスキルアップのためのセミナー及び実践研修を開催する。

・開催回数 3回

・参加者 スキルアップセミナー 2回（主会場各60人、オンライン各200人）

実践研修 1回（10人）

(5) あきた出会い・結婚ネットワーク推進事業

「あきた結婚支援センター」にネットワーク推進員を1名配置し、結婚支援に取り組む市町村、企業及び地域の連携強化を図る。

- ・取組内容 結婚支援を行っている団体間の情報共有、連絡調整、課題の解決とフォローアップ等

3 予算額

35,088千円 (国22,436千円、 \ominus 12,652千円) 国：地域少子化対策重点推進交付金

(1) あきた結婚支援センター負担金	21,464千円 (国13,294千円、 \ominus 8,170千円)
〔負担金補助及び交付金	21,464千円〕
(2) 「まずは出会いから」応援事業	3,300千円 (国2,200千円、 \ominus 1,100千円)
〔委託料	3,300千円〕
(委託料の内訳)	
・交流イベント、企業間交流会の開催	3,300千円
(3) 婚活スキル向上事業	4,815千円 (国3,209千円、 \ominus 1,606千円)
〔旅費	19千円〕
〔委託料	4,796千円〕
(委託料の内訳)	
・セミナー付き交流会の開催	4,796千円

(4) 結婚サポータースキルアップ事業	1, 269千円 (国950千円、 \ominus 319千円)
〔旅費等	57千円〕
〔委託料	1, 212千円〕
(委託料の内訳)	
・セミナー、実践研修の開催	1, 212千円
(5) あきた出会い・結婚ネットワーク推進事業	4, 240千円 (国2, 783千円、 \ominus 1, 457千円)
〔委託料	4, 240千円〕
(委託料の内訳)	
・ネットワーク推進員の配置	4, 240千円
〔賃金、共済費	2, 712千円〕
〔活動経費	1, 528千円〕

若年女性の県内定着促進事業について

次世代・女性活躍支援課

1 目的

若年女性の県内定着を促進するため、県内外の女性に向けた県内企業の魅力の発信や、若年女性に魅力ある職場づくりを推進する。

2 内容

(1) 若年女性に魅力ある職場づくり促進事業

「あきた女性活躍・両立支援センター」にコーディネーターを配置し、女性の活躍推進に前向きな意向のある企業への働きかけや取組に対する支援により、女性に魅力のある職場の増加を図る。

- ・委託先 秋田県商工会連合会
- ・業務内容 ア) コーディネーターによる企業訪問
イ) 専門アドバイザー（社会保険労務士）の派遣
ウ) 一般事業主行動計画の策定・更新に向けた支援や普及啓発

(2) 若年女性に魅力ある職場づくり加速化事業

女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を「えるぼしチャレンジ企業」に認定し、目標の達成や、えるぼし認定の取得に向けた取組に対して経済的な支援を行う。

①女性の活躍推進に取り組む企業が行う職場環境の整備等への助成

- ・補助対象者 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に定める数値目標が、国のえるぼし認定における基準に掲げる数値を上回る中小企業
- ・補助率 1／2（上限額 200万円）

- ・補助対象 目標を達成するために必要な職場環境の整備及び女性の採用や登用の促進に要する経費
(女性専用トイレ、子育てスペース等の整備費及び社内研修会の開催費用等)

②「えるぼしチャレンジ企業」に対する支援金の交付

- ・補助対象者 「えるぼしチャレンジ企業」に認定されている企業
- ・補助率 10/10以内(上限額 50万円)
- ・補助対象 国のえるぼし認定の取得に向けた取組に要する経費

③事業等の周知のためのチラシの作成

- ・作成部数 5,000部
- ・配布先 県内企業、関係団体、市町村等

(3) 秋田とつながる若年女性のネットワーク構築事業

首都圏在住の女性同士の交流会等を通じてニーズ等を把握することにより、県内企業等にフィードバックするとともに、県内の情報を効果的に発信するためのネットワークを構築する。

①若年女性による交流会の開催

- ・開催時期 6月、7月、11月
- ・参加者 秋田で働くことや暮らすことに興味のある首都圏在住の社会人女性 30名
- ・実施内容 秋田で働く女性によるゲストトーク、ワークショップ、交流会

②若年女性のニーズを集約した啓発リーフレットの作成

- ・作成部数 3,000部
- ・配布先 県内企業、関係団体、市町村等

③若年女性のネットワークの構築及びネットワークを活用した情報発信

- ・LINE等を活用したオンラインコミュニティの形成
- ・県内の女性活躍推進企業の情報や暮らしの魅力等の効果的な発信

3 予算額

72,559千円 (国27,572千円、 \ominus 44,987千円)

国：デジタル田園都市国家構想交付金

- | | | |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| (1) 若年女性に魅力ある職場づくり促進事業 | 13,489千円 | (\ominus 13,489千円) |
| 〔 需用費等 | 757千円 | 〕 |
| 〔 委託料 | 12,732千円 | |
| (委託料の内訳) | | |
| ・コーディネーター等人件費 | 4,180千円 | |
| ・専門家派遣経費 | 4,764千円 | |
| ・活動旅費等 | 3,788千円 | |
|
 | | |
| (2) 若年女性に魅力ある職場づくり加速化事業 | 55,145千円 | |
| | (国27,572千円、 \ominus 27,573千円) | |
| 〔 需用費等 | 145千円 | 〕 |
| 〔 負担金補助及び交付金 | 55,000千円 | |
|
 | | |
| (3) 秋田とつながる若年女性のネットワーク構築事業 | 3,925千円 | (\ominus 3,925千円) |
| 〔 旅費 | 866千円 | 〕 |
| 〔 使用料及び賃借料等 | 320千円 | |
| 〔 委託料 | 2,739千円 | |
| (委託料の内訳) | | |
| ・交流会の開催 | 2,162千円 | |
| ・リーフレットの作成等 | 577千円 | |

オール秋田で子育てを支える地域づくり推進事業について

次世代・女性活躍支援課

1 目的

子どもが健やかに成長することができる社会の実現に向け、地域における子育て支援体制の充実を図るとともに、家庭における男性の家事・育児参画を促進する。

2 内容

(1) 家族で取り組む楽しく（らくたの）家事・育児支援事業

家族で楽しみながら家事や育児に取り組む環境を整備するため、効率的な家事の手法を学ぶセミナーや、家族体験型のイベントを開催する。

①家事・育児に関する家族向けセミナーの開催

- ・対象者 共働きの夫婦、子育て中の家族等
- ・開催場所 県内3か所
- ・実施内容 家事・育児の実践セミナー

②父親の家事・育児参画促進のための家族体験型イベントの開催

- ・対象者 共働きの夫婦、子育て中の家族等
- ・開催場所 秋田市
- ・実施内容 父親と子どもが触れ合える遊びの体験、ICTを活用した商品の体験展示、家事・育児を楽しむサービスや家電の紹介等

(2) 【新規】“パパママいっしょに”おでかけ応援事業

社会全体で子育てを応援する環境づくりを促進するため、男性が利用可能な「こどものえき」を整備する事業者を支援する。

- ①男性が利用可能な「こどものえき」の整備への助成
 - ・補助対象者 「あきた子育てふれあいカード」協賛店を運営する民間事業者
 - ・補助率等 1/2 (上限額 1店舗当たり20万円)
 - ・補助対象 男性が利用可能な「こどものえき」の整備に要する経費
(おむつ交換台、ベビーキープ、授乳場所の整備費)
- ②「こどものえき」ステッカーの作成、リーフレットによる補助事業の周知

3 予算額

8,030千円 (国2,537千円、 \ominus 5,493千円)

国：地域少子化対策重点推進交付金

- (1) 家族で取り組む楽しく楽しく (らくたの) 家事・育児支援事業 3,808千円
 (国2,537千円、 \ominus 1,271千円)
- | | | |
|------|---------|-------------------------------|
| 報償費 | 600千円 | (国2,537千円、 \ominus 1,271千円) |
| 需用費等 | 154千円 | |
| 委託料 | 3,054千円 | |
- (委託料の内訳)
- ・家族体験型イベントの開催 3,054千円
- (2) “パパママいっしょに” おでかけ応援事業 4,222千円 (\ominus 4,222千円)
- | | | |
|------------|---------|-------------------------------|
| 需用費 | 222千円 | (国2,537千円、 \ominus 1,271千円) |
| 負担金補助及び交付金 | 4,000千円 | |

空き家対策総合推進事業について

地域づくり推進課

1 目的

空き家の増加抑制や利活用を促進するため、空き家相談会や広報、市町村職員向け研修会を実施するほか、市町村や関係団体との情報交換を行う。

2 内容

(1) 空き家相談会の開催

県や市町村、宅建業団体、解体工事業協会、司法書士会等関係団体の連携による相談会の開催（県内13回、オンライン1回）

(2) 普及啓発の実施

新聞広告の掲出や住まいの終活セミナー開催等による、空き家の発生抑制、利活用や適切な管理、除却等の促進に関する普及啓発の実施

(3) 市町村職員向けスキルアップ研修の実施

苦情対応や代執行等困難事案の対応に主眼をおいた研修の実施（5講座）

(4) 空き家対策連絡会議の開催

県・市町村・関係団体による、効果的な空き家対策についての情報交換及び検討（2回）

3 予算額

9,427千円（○9,427千円）

報償費 旅費等 委託料	220千円	（委託料の内訳） ・空き家相談会の開催 ・新聞広告	
	1,062千円		4,889千円
	8,145千円		3,256千円

関係人口による「あきたの物語」拡大事業について

地域づくり推進課

1 目的

県外在住者の企画力や実行力を効果的に生かし、地域の課題解決や活性化を促進するため、市町村や地域団体との連携により、地域と関係人口が関わる様々なコンテンツを「あきたの物語」として見える化し、都市圏等在住者をターゲットとした関係人口の拡大を図る。

2 内容

(1) 「あきたの物語」の発掘・発信

地域の行事や活動、農業等魅力あるコンテンツを発掘し、県関係人口ウェブサイト「あきコネ」で発信

(2) 地域と関係人口との交流会の開催

モデル地域での現地やオンラインでの交流会の開催（2町村）

(3) アキタコアベースを活用したセミナーの開催

首都圏における関係人口の拡大を図るため、冬まつりや発酵文化等魅力あるコンテンツをテーマとしたセミナーをアキタコアベースで開催（10回）

(4) あきた関係人口プロジェクト会議の開催

県、市町村、地域団体等関係者による情報共有、コンテンツの発掘、受入態勢等に関する意見交換

3 予算額

6,267千円（ \oplus 1,100千円 \ominus 5,167千円）

\oplus ：企業版ふるさと納税

旅費等	1, 7 5 7 千円
委託料	4, 5 1 0 千円

(委託料の内訳)

・「あきたの物語」の発掘・発信	2, 7 5 9 千円
・地域と関係人口との交流会の開催	1, 2 4 6 千円
・アキタコアベースを活用したセミナーの開催	5 0 5 千円

NPO災害支援ネットワーク体制整備事業について（新規）

地域づくり推進課

1 目的

災害が激甚化・頻発化する中、効果的な被災者支援活動を促進するため、NPOのネットワーク体制整備に必要な経費を助成する。

2 内容

NPO災害支援ネットワーク体制整備事業費補助金

- ・補助対象者 NPO法人あきたパートナーシップ
- ・補助率 10/10以内
- ・補助対象 ①ネットワーク体制の整備や災害対応のスキルアップに要する経費
(意見交換会、研修会の開催費等)
- ②被災者支援活動を行うNPOの把握に要する経費
(活動分野や支援内容等の調査費、災害時連絡用リストの作成費等)
- ③NPOによる被災者支援活動への理解促進に要する経費
(シンポジウムや交流会、体験ブースの設置を行うイベント開催費等)

3 予算額

1, 215千円 (⊕1, 215千円)

[負担金補助及び交付金 1, 215千円]